

参 考 資 料

～需要側の脱炭素イノベーションに必要なもの～

大阪大学 大学院

西 村 陽

需要側の脱炭素イノベーションに必要なもの

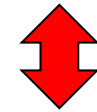
市場(価格メカニズム)・ 制度の整備

海外では託送料金制度改革も含む
EVや蓄電池の大量参入には小売
料金経過措置解除が必須条件



再エネを最大限活用する(電気利用シフト、貯電・放電)ための市場設計・市場の動きを反映した電力ユーザーへの料金メニュー等提示(小売電気事業者・アグリゲータ)

本勉強会のメインスコープ



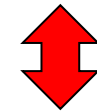
連動

機器のIoT化と 市場等シグナルへの反応

シグナルの手段はEMSから次世代
スマートメーターまで多様であること
は留意が必要



市場価格や料金メニュー等に追従できる動作機能の実現(IoT)=DRready機器・システム、送配電会社への取引用プラットフォームの整備、ルールやメニューの整備



連動

機器普及・更新と 顧客コミュニケーション

行政・事業者協力したユーザーへの
周知努力が重要



DRready機器・システムへの確実な更新、燃料利用機器からDRready電化機器への転換を推進(ロックイン効果回避)再エネバランシング料金/市場活用の認知向上

必要施策の全体像、相互のつながりを意識して議論することが重要。